袋井市教育委員会　会議録（要旨）

会　議　名	令和７年４月 袋井市教育委員会　定例会
招集日時	令和７年４月28日(月)午後１時30分
会議時間	午後１時37分から午後２時42分まで（54分）
場　　所	教育会館　３階会議室
出　席　者	鈴木一吉　　教育長 鈴木万里子　委員 大谷純應　　委員 溝口知秀　　委員 吉田陽子　　委員 （計：５人）
欠　席　者	無し
傍　聴　者	無し
当局出席者	石黒克明　　教育部長 小澤一則　　教育監 山岡ゆかり　教育企画課長 平野邦孝　　未来の教育推進室長 戸塚建司　　おいしい給食課課長 荒浪　健　　教育保育課長 田中　慎　　学校教育課長 中村悟史　　魅力ある部活動推進室長 中村聡志　　生涯学習課長 白澤　崇　　歴史文化館長 渡邊規恵　　教育企画課補佐 廣岡真理　　教育企画課教育総務係長 （計：12人）　　（合計：17人）
会議に付した事件	別紙「令和７年４月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」のとおり

令和７年４月　袋井市教育委員会定例会　日程
会　　議　　日　　程

日程第１　開　会
日程第２　会議録署名委員の指名
日程第３　会議録の承認
日程第４　教育長報告
日程第５　教育部月例事業報告
日程第６　議　事（会議に付すべき事件）
（１）報告事項

報第 36 号　　令和６年度袋井市教育施設等３Ｒプロジェクト整備年表の更新について
報第 37 号　　袋井市立小中学校衛生委員会委員の委嘱又は任命について
報第 38 号　　袋井市立学校、幼稚園等の防火管理者の解任又は任命について
報第 39 号　　袋井市立学校、幼稚園等の衛生推進者の解任又は任命について
報第 40 号　　袋井市立学校職員安全衛生協議会委員の委嘱又は任命について
報第 41 号　　袋井市立小中学校運営協議会委員の委嘱又は任命について
報第 42 号　　令和７年度「袋井の教育」について
報第 43 号　　袋井市立学校給食センター運営協議会委員の委嘱又は任命について
報第 44 号　　袋井市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱又は任命について
報第 45 号　　令和７年度　放課後児童クラブ利用待機児童数について
報第 46 号　　保育所等の待機児童０（ゼロ）　４年連続達成について
報第 47 号　　袋井市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について
報第 48 号　　袋井市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
報第 49 号　　袋井市不登校児童等対策連絡協議会委員の委嘱について
報第 50 号　　部活動地域展開推進協議会委員の委嘱または任命について
報第 51 号　　袋井市就学支援委員会委員の委嘱または任命について
報第 52 号　　袋井市結核対策委員会委員委嘱または任命について
報第 53 号　　令和７年度「世界とつながるコミュニケーション力推進事業」について
報第 54 号　　袋井市社会教育委員の委嘱又は任命について
報第 55 号　　袋井市青少年問題協議会委員の委嘱又は任命について
報第 56 号　　袋井市文化財保護審議会委員の委嘱又は任命について
報第 57 号　　袋井市社会教育指導員の任命について
報第 58 号　　袋井市歴史資料館運営委員会委員の委嘱又は任命について
報第 59 号　　袋井市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について
報第 60 号　　こども誰でも通園制度について

日程第７　その他
（１）連絡事項

ア　　令和７年度袋井市の青少年健全育成事業「健やかな成長を願って」

（２）次回定例会等の予定について

５月教育委員会定例会
令和７年５月２９日（木）　午前９時３０分　教育会館３階　ＩＣＴ研修室

（３）その他

日程第８　閉　会

１　開会

●教育長

職員異動に伴い自己紹介

２　会議録署名委員の指名

●教育長

鈴木委員と吉田委員 を指名

３　会議録の承認

●教育長

３月の定例会及び総合教育会議の会議録については、承認

４　教育長報告

●教育長

資料提供にて確認

５　教育部月例事業報告

●各課長

資料提供にて確認

６　議事

●教育長

今回は、議決事項及び協議事項はございません。報告事項について、事務局から説明をお願いします。

報第36号　令和６年度袋井市教育施設等３Ｒプロジェクト整備年表の更新について

●教育企画課長

資料に基づき説明

●溝口委員

質問ではありませんが、先日卒業式に高南小学校へ出席した際に、横に竹野議員がいらっしゃって、体育館の壁が体育館の入り口付近に向かって左側の腰板がめくれていて「ちょっと修理するように言ってくれよ。恥ずかしいから。」と言っていました。ちょっと検討してもらえますか？確かにみっともないと言えばみっともないし、けがは無いかと思いますけども、そういう修繕は必要だと思いますので、頭に入れておいていただきたいなと思います。以上です。

●教育企画課長
御意見ありがとうございます。早速現場を確認させていただきます。大規模な修繕とまでは難しいかもしれませんが、応急復旧のような形で可能な限り対応してまいります。よろしくお願いいたします。

●溝口委員
大丈夫です。はい。

●教育長
もしも支障があるようでしたら学校からも連絡が入るはずだと思いますので、確認してください。

報第 37 号　袋井市立小中学校衛生委員会委員の委嘱又は任命について
報第 38 号　袋井市立学校、幼稚園等の防火管理者の解任又は任命について
報第 39 号　袋井市立学校、幼稚園等の衛生推進者の解任又は任命について
報第 40 号　袋井市立学校職員安全衛生協議会委員の委嘱又は任命について
報第 41 号　袋井市立小中学校運営協議会委員の委嘱又は任命について

●教育企画課長
資料に基づき説明

［質疑・意見（要旨）］
なし

報第 42 号　″令和７年度「袋井の教育」について

●教育企画課長
資料に基づき説明

［質疑・意見（要旨）］
なし

●鈴木委員
「袋井の教育」についての直接的な内容ではありませんが、生涯学習に関わることで、気になることがありますので、この場をお借りして意見をさせていただきます。月見の里学遊館の指定管理者の変更により、現在、関係団体等が混乱をしているようです。月見の里学遊館では、文化の向上のための様々な事業をしており、合唱等の様々な団体が属しておりますが、それらの団体から、指定管理者が代わったことにより、今まで実施していた事業がどうなるのかという声があがっており、事業がなくな

ってしまうのではないかという不安を抱いてるのではないかと思います。ぜひ、生涯学習課において、新たな指定管理者の事業計画として、どのように引き継がれて、進めていくのかの確認をお願いしたいと思います。

●生涯学習課課長

ご意見ありがとうございます。月見の里学遊館の指定管理者については、今年の４月に前年度までの文化協会グループからスポーツ協会グループに変更になりました。変更の際にもいろいろご意見はいただきましたが、４月以降にも鈴木委員の言われたようなご意見をいただいております。新たな指定管理者としてスポーツ協会グループが、昨年までやっていた事業等をどのように引き継いでいくのかということを先週も話をさせていただきました。スポーツ協会グループも４月に変更となったばかりでバタバタしている状況でありますが、やはり、文化は、継続性もありますので、なるべく早い段階で、どのように引き継がれ、推進をしていくのか、生涯学習課としても、確認をしてまいりたいと思います。

●大谷委員

私も月見の里学遊館についての意見となります。重複して申し訳ございません。今回、指定管理者が文化協会グループから変更になり、先ほどの鈴木委員のご意見もそうですが、影響が如実に表れているのが、インスタグラムです。今までの記事がすべて削除され、現在の月見の里学遊館のインスタグラムの記事は、10件もない状況です。数千人のフォロワーがいるにもかかわらず、前の指定管理者が、おそらく全ての記事を削除されて、お渡しになられていると聞いております。そのような状態だと、市民の皆さんの中にも大丈夫なのかと心配をされてる方も少なくないと思います。その状況について、やはりしっかりしたフォローや説明がないと、現在の指定管理者であるスポーツ協会グループが、なかなかやりにくくなるのではないかと私も個人的に感じています。
心配している市民がいるということは事実ですので、その状況を真剣に受け止めていただきたいと思います。

報第 43 号　袋井市立学校給食センター運営協議会委員の委嘱又は任命について
報第 44 号　袋井市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱又は任命について

●おいしい給食課長

資料に基づき説明

［質疑・意見（要旨）］
なし

報第 45 号　令和７年度　放課後児童クラブ利用待機児童数について

●教育保育課長

資料に基づき説明

［質疑・意見（要旨）］
なし

報第 46 号　保育所等の待機児童０（ゼロ）　４年連続達成について

●教育保育課長
資料に基づき説明

●吉田委員
入所できなかった方のうち、特定園のみを希望されてる方の理由っていうのは、本当にその入れますよって言ってる園の保育は不安だからっていう理由なのでしょうか？

●教育保育課長
今回詳しく申し上げると 100 名の潜在的待機のうち 98 名が特定園を希望するとなっておりまして、理由としては、自宅勤務地からの距離でありますとか、あとは園の理念とか特色とか、施設の状況であるとか、そういうことによってそこの園に入りたいということで、空いてる園もございますけれども、空き枠としては、市内全体で枠が 270 ぐらいありますが、その中でも特定の園だけに入りたいというような状況です。

●吉田委員
距離とか施設面の老朽化を心配されていると、いくら保育の質を高めようっていったところで、保護者さんの意向はなかなか納得が得られないんじゃないかなと思います。その対応でいいのか心配です。

●教育保育課長
今、ちょうど幼稚園の統廃合等の課題で各園を回らせていただいておりますけど、やはり今、吉田委員おっしゃるように、施設の新しい古いをおっしゃる方もいるし、片や、公立幼稚園の役目というか、特色である保幼小接続であるとか、特別支援に対する考え方とかそういうものを評価して入っていただけるということで様々ございます。また、それぞれの施設の古い、新しいがありますけれども、市内どこの園に入園しても、今架け橋の関係でやっているように、どこの園でも同じような考え方で教育保育が受けられるよということで、引き続き周知を図ってまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

●溝口委員
今の話で、公表値は 0。これはいいですが、ただやはり 100 人は入園できていないというのが現実であって、どこに入園しても同じように教育できるのだからという説明をしたとしても多分この 100 名はそれを拒否している方々という考え方だと思うのですよ。こ

れからこの 100 人をどうしていこうかという考えは何かありますか？どこに入ってもいいですよって言っても埋まる溝ではないと思いますが。かといってこの 100 名をほっとくわけにはいかないと思って、多分ここに 100 名載せていると思いますが、その辺何か次の手は考えているのでしょうか？

●教育保育課長

100 名の内訳を 0 歳から 5 歳に分析してみると、かつては 1 歳児のところが潜在的待機が多かったのですが、今、2 歳児の方にそれがスライドしておりまして、これ全体的傾向としては、育児休暇を長く取られるお父さんお母さんが増えてきたということで、2 歳の年齢までは家庭保育によって自分でお父さんお母さんがみていて、2 歳の途中で、保育園に入って行きたいよっていう方が大体 35%いらっしゃるような傾向にあります。それと、潜在的待機を地区別に分析しますと、やはりさっきの児童クラブと一緒で、袋井北小学校区が 25%ぐらいで、あとそれに続くのが袋井西、袋井南、山名ということで、なるべく近くのところに入りたいという思いもあって、遠くまで行くのは大変だというようなものが見てとれるのですけど、自分が考えて、1 番大事にしているのは、就学前の教育保育というのはやはり小学校に上がる前の段階で、そのお子さんの礎を築く大事な時期であるので、どこの園に入ったとしても袋井はそこに力を入れてやっているので建物の新しい古いとか遠い近いはあるかもしれませんが、御理解を頂きながらやってまいりたいと思っております。以上です。よろしくお願いいたします。

報第 47 号　袋井市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について
報第 48 号　袋井市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
報第 49 号　袋井市不登校児童等対策連絡協議会委員の委嘱について
報第 50 号　部活動地域展開推進協議会委員の委嘱または任命について
報第 51 号　袋井市就学支援委員会委員の委嘱または任命について
報第 52 号　袋井市結核対策委員会委員委嘱または任命について

●学校教育課長

資料に基づき説明

●吉田委員

報第 51 号の就学支援委員会の中の表で、こども支援課とか、育みの方たちの枠組みが市教委っていう区分になっていますが、もう市教委じゃないですよね。ですので、この表記は直したほうがいいかなと思います。すいません。お願いします。

●学校教育課長

はい、ありがとうございます。市教委ではありませんので訂正します。

報第 53 号　令和７年度「世界とつながるコミュニケーション力推進事業」について
●学校教育課長

資料に基づき説明

●吉田委員

質問１点と感想に３点で、質問ですが、去年、令和６年度で行っていた事業内容も英検チャレンジと放課後イングリッシュクラブで、今年も一緒なのに名前が変わっていますが、去年までは英語力向上推進事業だったんですが、世界につながるのに変えた目的や意味を教えていただきたいです。

●学校教育課長

子供たちに英語を勉強してほしいと思うときに、英語の力を身につけるだけじゃなくてもっと大切なところは、人と関わる力だと思っております。英語は一つの道具にすぎないということで、英語を通して世界のいろんな人とコミュニケーションを図っていく子供を育成したいということで、タイトルをこのように変えております。

●吉田委員

わかりました。ありがとうございます。あとは、感想になってしまいますが、最後のページの令和６年度中学校卒業時における英検３級相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合を見ると、英検３級以上を取得しているのが 28.9%で英検３級以上を取得してないけど３級以上相当の英語力があると思われるが 12.4%であわせて 41.3%ということですが、英検３級は中学校卒業程度の英語力を取得しているということですよね。それが 40%ぐらいしかいないというのはちょっと寂しいというか、できれば過半数超えてほしいなというのが正直な感想で、さらに去年の資料も見て、令和５年度だと中学校卒業時に英検３級程度以上を持つ生徒の割合が 45.9%あったのですが、それが 41.3%に下がっている。その内訳見ると、英検３級以上の取得者が令和５年度は 22.3%でそれが 28%に上がっているのはうれしいと思いますが、逆に、英検を取得してないけど英語力があると思われる生徒の割合が 23.6%から 12.4%と下がっているのですね。ということは二極化が進んでしまっているのではないかなというのをすごく危惧していて、英語に興味がある人はどんどん英検を受けてチャレンジしていく。でも興味ない子はどんどん後ろ向きになってしまっているのではないかというのが心配しております。もう少し間口を広げるような施策とか、取り入れてもいいのではないかということと、先ほど人と関わる力という意味で英語力を道具としてというお話があったと思いますが、そのＡＬＴさんたちは、海外に来て外国語を勉強しながら生活しているというモデルケースとしてはすごくいいと思います。うちの子は割と消極的なのですが、今年周南中に来たＡＬＴさんの日本語が上手らしくて、７年から９年勉強を続けてるようで、その姿に感銘を受けて、私も留学してみようかなとか言い出したんです。なので、ＡＬＴさんで英語を教える存在だけじゃなくて、そういった世界につながっている存在であるので、そういった面でも、例えば放課後イングリッシュクラブも英語力だけを押し出すのではなくて、まずは関わり合いましょう、しゃべってみましょう、というような形にして英語に対して後ろ向きになっている子でもちょっと英語に興味持つ、そういった機会にしてもらえたらなと思いました。以上です。

●学校教育課長

ありがとうございます。おっしゃるとおり英語に限らず、自分は中学校英語教員ですが、二極化が進んでいて、英語が好きな子と嫌いな子と大きな差が出てるということは、実態としては御指摘があったとおりなのかもしれませんが、子供たちに、関心を高めながら進めていきたいと思いますので、その放課後イングリッシュクラブの持ち方についても、自分は英語が得意だからじゃなくて、英語に興味があるかどうか、人と関わることが好きだからという、そういうような宣伝をしながら、参加者を募っていきたいと思います。

報第 54 号　袋井市社会教育委員の委嘱又は任命について
報第 55 号　袋井市青少年問題協議会委員の委嘱又は任命について
報第 56 号　袋井市文化財保護審議会委員の委嘱又は任命について
報第 57 号　袋井市社会教育指導員の任命について
報第 58 号　袋井市歴史資料館運営委員会委員の委嘱又は任命について
報第 59 号　袋井市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について

●生涯学習課長
資料に基づき説明

［質疑・意見（要旨）］
なし

報第 60 号　こども誰でも通園制度について

●教育保育課長
資料に基づき説明

●吉田委員
現在、保育園にも一時預かりの事業あるのに何でこの制度をやるのだろうとすごく後ろ向きな気持ちでいます。2 月の議会でも議員さんから質問があってそのときの答弁を聞いた際に、市のアンケート調査では 12.6％が利用したいという意向があるといことを聞いて、現在一時預かり事業をやっている園は民間園が 4 園、公立園が 1 園、小規模園が 1 園やっているっていうお話で、多分その園が主な受入れ先になるんじゃないかなというお話だったんですが、今現在その民間園 4 園とか、一時預かり事業をしている方たちは実際に何名ぐらいで月何件くらい利用実績があるか教えていただきたいです。

●教育保育課長
笠原こども園で一時保育を行っておりまして、令和 6 年度実人数で 11 名利用されております。

●吉田委員

11 名は定期的に利用されそうですか？

●教育保育課長

はい。11 名が定期的に利用をしております。

●吉田委員

ニーズはあるのですね。承知しました。

●教育長

私もこの制度が国から示された時にかなり課題が多いかなという感じはしておりました。まず人を確保し、保育所を確保し、場所を確保しなくてはいけませんよ。それから、誰でも通園制度と言いながら、その子の基本情報やいろんな情報をどうやって事前に分かっておきながら保育に当たるのかっていうところのスキームを作らないとなかなか適した保育ができないのではないかというところもあり、恐らく課題が大きいのではないかというふうに思っています。反面、この給付費見ていただくと、1,500 円ぐらいで１時間お子さんを預かるよというようなものになっているので、最終的に給付費がどうなるのかは、令和８年度からの施行になりますが、課題がまだまだあるなという感じはしています。先日、民間の園長会で説明させていただきましたが、まだまだ不明な点がありますので、やるかやらないかは判断がつかないというのが民間園の方々の御意見でした。ですから、もう少し詳細な情報なり、実は、県内の自治体が実証事業やっていますので、その結果を頂いて、長所、短所、課題をつかんだ上で実施していただくならば実施していくということになると思っています。民間の場合は、ある意味、園児の確保について、先に確保しておいてみたいなところの趣旨もあると聞いていますが、果たしてそれが本当に制度の趣旨と合致してるかを含めて、いろんな課題があるかなという感じはしております。またこのスケジュール通りいろいろ検討していきますので、その都度また、報告なり相談をさせていただきたいというふうに思います。

７　その他

（１）連絡事項

ア令和７年度袋井市の青少年健全育成事業「健やかな成長を願って」

（２）次回定例会等の予定について

５月教育委員会定例会

令和７年５月29日（水）　午前９時30分　教育会館３階　ＩＣＴ研修室

８　閉　会　（午後２時42分閉会）